

第60回オホーツク流氷科学講座 冬の海鳥観察クルーズ



ネイチャーウォッチングクルーズ
ガリンコ号III IMERUで行く！ 第60回オホーツク流氷科学講座
冬の海鳥観察クルーズ
オホーツク海の絶景を鑑賞し学ぶ自然体験クルーズです。他に、アザラシ・オオワシ・オジロワシなど北の海の生き物に会えるかも知れません。
2024年1月13日(土) AM9:00-12:00 約3時間
集合場所 海洋交流館 8:45までに受付を終了してください。
参加費 大人4,000円 小人2,000円
海鳥ガイド:もんべつがいほつくるふ内務 大庭 利広 氏

主催 北海道立オホーツク流氷科学センター-GIZA
共催 特定非営利活動法人三夏巻屋復活プロジェクト
協力 オホーツクガリンコタワー株式会社 011-136-1143 0944
お問合せ・お申込みはコチラ ▶ 

1月13日(土)

ガリンコ号 III IMERU にて海鳥を観察するクルーズです。ガイドによる解説、レクチャーがあります。申し込み、お問い合わせはオホーツク・ガリンコタワー株式会社へお願いいたします。ご参加お待ちしております。

コムケ写真展

12月23日(土)~2月4日(日)

「コムケの会」の会員が撮影したコムケ湖の風景、野鳥や植物などの写真を展示するコムケ写真展を開催します。会員が出合ったコムケの魅力がたくさん詰まった写真展です。入場は無料です。是非ご覧ください。



冬のギザまつり

1月6日(土)~9日(火)

今年も冬のギザまつりを開催いたします。科学教室、ArCS II コラボ企画の流氷ワークショップ、プラネタリウムの上映を行います。また、期間中、北海道オホーツク総合振興局による、リサイクルクラフト体験なども実施します。詳しくはホームページをご覧ください。皆様のご参加お待ちしております。

9. 10. 11月の事業報告

ビーチコーミング

今年度の漂着物の正体や由来を考えるビーチコーミングが終了しました。今回は7月から11月までに雨天などで2回の実施となりました。今年は漂着ごみが少ないシーズンでしたが参加者の皆さんは外国からの容器などを拾い楽しんでいました。ようす。



木の香りこがし絵展



焼き色を付けて描く「こがし絵」の作品展は、12/10まで多目的ホールで開催。市内の焼き絵サークル4団体(香・秋桜・ハマナス・ゆり)が制作した作品は緻密で繊細なタッチが美しく、訪れた方を釘付けにしました。

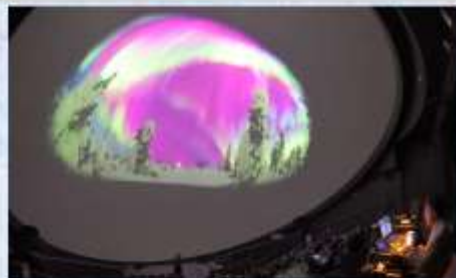
写真展オホーツク物語 2023 -西紋写真部作品展-

10/3~29、西紋写真部による写真展「オホーツク物語 2023」が、多目的ホールで開催されました。それぞれの目線でとらえた個性豊かな作品約40点が展示され、オホーツク地域の魅力を存分に伝えていました。たくさんのご来場ありがとうございました。



大館和広写真展「天と地の狭間で」上部作 第一部 遠かなるトムラウシ山

紋別で自然保護活動を行っている「もんべつかいはずらぶ」代表の大館和広氏による写真展が9/5～30の期間、多目的ホールにて開催されました。今にも山頂の澄み切った空気が漂って来そうな大雪山の山々の写真は、来場者を大いに引き込み楽しませてくれました。来年度は、第二部を開催予定です。ご期待ください。



中垣哲也オーロラ上映&CARINライブ

「オーロラの彼方へ CARIN(かりん)の歌声とともに」

オーロラメッセンジャー中垣哲也氏によるオーロラ映像の上映会を開催しました。今回はシンガーソングライターCarin様の生歌との上映でした。最新のオーロラ映像と歌のととも幻想的な上映会となりました。ご来場いただいた皆様ありがとうございました。

行事予定

<12月>

- 第9回 木の香り こがし絵展
日程:11月10日～12月10日
- ハタでいとお絵かき会
日程:12月16日
- 今月のプラネタリウム
日程:12月17日
- コムケ写真展
日程:12月23日～2月4日

<1月>

- コムケ写真展
日程:12月23日～2月4日
- 冬のギザまつり
日程:1月6日～9日
- 流水垂さ当てクイズ
日程:1月6日～2月12日
- 今月のプラネタリウム
日程:1月8日
- プランクton観察クルーズ
日程:1月9日
- 冬の海鳥観察クルーズ
日程:1月13日

<2月>

- コムケ写真展
日程:12月23日～2月4日
- 流水垂さ当てクイズ
日程:1月6日～2月12日
- 今月のプラネタリウム
日程:2月4日
- 流水織物展
日程:2月10日～29日(予定)

※その他最新情報・
詳細については
ホームページ・facebook
にて随時更新していきます。

日本雪氷学会北海道支部地域講演会

日本雪氷学会北海道支部では雪氷に関する啓蒙普及活動と目的として地域講演会を札幌以外の北海道各地において毎年開催しています。2023年度の地域講演会は「極地観測いまむかし」と題して紋別市で開催されました。元国立極地研究所・所長の渡辺興亜氏が極地観測の歴史:北極から南極までと題し、紋別市職員で第63次南極地域観測隊の岩本勉之氏からお話を頂きました。ご来場いただいた皆様ありがとうございました。



～流水の街から～ 実際に見ること

今年も小学校、中学校体験学習のお手伝いをしました。プログラムは川の生きもの・環境調査、川のつくり観察、漂着物・海ゴミなどをテーマにしたもので、実際に川や海に行き調査、観察などを体験しました。海の街紋別市ですが、市街地付近の海岸は港や防波堤となっていて、自然の砂浜は離れた場所にあります。そのためか海の街にいながら海岸に行った経験があまりなかったり、行ったことがない児童、生徒もいます。また、一級河川の渚滑川やカニの爪オブジェ付近が河口となる藻叢(もべつ)川などもあります。こちらも日頃から川に近づく危険とされているためか川遊びや、川を間近で見たことがない児童、生徒が多くなります。

自然の中での体験学習では参加者は目を輝かせて楽しんでいます。フィールドに行くことで川ではどんな生きものがどこにいるか、水深が深くなると歩きにくくなること、川の流れや石が丸くなっていること、海では漂着物には自然の物、人工の物、外国の物があることなどを見て触って考えることができます。実際に見たりすることはとても大切なんだと感じます。

自然は楽しみや感動、学びを与えてくれますが、危険もあります。どのような状況が危険に必要な装備、道具は何かを知るのはとても重要なことだと思います。これらの体験学習がきっかけで自然に興味を持ってもらえたら嬉しい限りです。これからも自然を甘く見ることなく、親しみをもち楽しんでほしいと思います。(学芸員 桑原)

GIZAだより Vol.141 発行:北海道立オホーツク流水科学センター

〒094-0023 北海道紋別市元紋別11 TEL (0158)23-5400 FAX (0158)23-9844

【ホームページ】<http://www.giza-ryuhyo.com> 【メール】info@giza-ryuhyo.com 【Facebook】<http://www.facebook.com/giza.ryuhyo/>

【開館時間】9:00～17:00 【休館日】12月4日、11日、18日、25日、29日、30日、31日、1月1日、2日、3日